

伊仙町誌編集事業計画(修正版) 令和4年11月8日

1. 編集方針

1) 総論

令和版伊仙町誌は、先史以来の人類史と自然環境の変遷を、最新の学問成果を踏まえ広く住民や出身者、そして未来の伊仙町民へ提供することを目指す。本事業の大きな柱として、学術研究の成果を活用し、学問的検証に耐えうる内容とする。

次に、対象を伊仙町内のみに限定せずに、周辺地域や琉球文化圏内、交易を通じての人、モノの動きや関わりの中で、その地域性、立ち位置を浮き彫りにする。

本地域は、数千年もの間、形態を変えずに狩猟・採集・漁労生活を行ってきた地域であり、数々の国指定史跡所在地、世界自然遺産登録地として、その人類史と環境史を地形、環境、景観の要素を入れ込み、生き生きと視覚に訴えるよう表現する。

全ての分野を通じて、徹底した資料調査・収集を行い、その成果を記述するとともにデジタルアーカイブ化して、住民や本地域に興味を持つ方々へ公開する。そのプロセスの中で、集落単位での歴史的経験と記憶、伊仙町出身者によるライフヒストリーを拾い上げ、文献、モノ資料にとどまらない生きた歴史を語る成果物を目指す。

最後に、昭和53年発刊の「伊仙町誌」のデジタル版を公開し、同時に製本化することで、「令和版伊仙町誌」が前回のバージョン内容を踏まえての発刊であることをアピールする。

2) 部門別編集方針

【先史・原史時代(旧石器時代・貝塚時代・グスク時代)】

近年、学際的進展の著しい先史部門は、旧石器時代から貝塚時代を経てグスク時代までの約30,000年前から600年前を扱う。食文化、土器文化、貝文化、大和朝廷との交流、按司やカムイヤキ生産など、遺物・遺跡を中心に先史・原史時代の理解を深める。またこれまでの発掘報告書や学会発表の参照を兼ねる工夫を行う。

【琉球王朝時代】

1422年の琉球王国成立から、1609年の島津氏による琉球侵攻までの琉球王朝統治時代を、間切制度やノロ制度など、琉球王朝とのかかわりの中で周辺地域の変遷も含め、記述する。

【薩摩藩時代】

1609年の薩摩藩主島津氏による琉球侵攻から1871年の廃藩置県までの時代を表す。奉行、代官制度や与人制度、黒糖上納、犬田布騒動など、藩政時代下に徳之島がおかれた実情を表す。「仲為日記」「道統上国日記」の他、散在し保存状態も危ぶまれる古文書をデータ化し、希少な文字情報を読み取り記録する。

【明治・大正時代】

明治維新以降、廃藩置県を経て戸長制度、村長制や町村議会制の変遷を描く。金銭通用と砂糖売買から発展する産業の立ち上がりなど、新しい社会制度の中での人々の暮らしの変化を表現する。

【昭和・平成・令和時代】

前半は、世界恐慌の波及から突入した、満州事変、日中戦争、第2次世界大戦における日本防衛南進の中心地としての役割と人々の暮らしをはじめ、大島郡振興計画の成り立ちや、終戦後の米軍政府統治下時代、奄美大島日本復帰協議会を中心にした日本復帰運動などを描く。

後半では日本復帰後の奄美群島復興特別措置法の制定や、町制の制定、町議会政治、インフラの整備と産業の振興、教育行政を含めた行政の変遷などを中心に、戦後の混乱期から本土の経済成長へ追い付こうとする地域の在りようを表す。特に徳之島核燃料再処理工場計画や米軍基地移設反対運動をはじめとする国へ抗う地域の姿や、国政を絡めた地方選挙の実態など、史実の一部として掘り下げる。

また島内外に居住する伊仙町出身者による生活史を拾い上げ、年表へ反映し、島口の保存も視野に入れた動画の撮影とデータ保存に努める。

【自然史】

徳之島南部に特徴的な石灰岩台地を深く切り込んだ断崖の溪谷や、なだらかに形成された砂浜などの地形的特徴と、海成段丘の崖下湧水エリアや隆起性サンゴの開折谷に集落が散在する伊仙町の成り立ちを明確にする。また、その微地形と気候が生み出した動植物などの天然資源を、先史に遡って永きに亘り工夫し、利用してきた人々の暮らしとの関わりの中で、本地域の自然の在りようを描く。

そのような本地域特有の自然環境、その自然との付き合いの中にある先人の知恵、その結果として世界基準を満たし認定された世界自然遺産登録への道のりなどをこれまでの科学的検証結果を踏まえて「環境文化型」を主軸に表現する。

【民俗】

過去の綿密な聞き取り調査の結果を踏まえ、これを集落単位で現在の住民へ還元しつつ、さらなる民俗調査にて歴史的経験と記憶を記録し、現時点での暮らしを照射する。伊仙町特有の年の祝いや生誕時のお祝い、闘牛文化など、現存する暮らし、伝統も記述する。

【デジタルアーカイブ】

本事業で収集予定の、歴史的、文化的価値のある史料を、デジタル化することで、いかに後世に継承していくかを議論し方策を決定する。地域にとって貴重な、唯一無二の文化資源を劣化・損傷・消滅によるリスクから回避し、将来的には伊仙町歴史民俗資料館

での保存や展示ホームページ上での発信を見据えて、その価値を共有する手段を見出す。

2. 史資料調査・収集方針

【先史・原史時代】

・基本的には、これまで本地域において発掘調査で得られた成果をもとに集積されてきた考古学の学術的発見、知見をベースとする。

【琉球王朝時代】

- ・未だ調査事例が少ないが、川嶺辻遺跡、才上遺跡などの発掘調査報告を待ち、当時代に対応する遺物などを検証する。
- ・奄美・沖縄における現存文献を調査する。
- ・各集落の地名を焦点に分布調査を行い、当時代の遺物との繋がりを調査する。
- ・ミナデウンノウにまつわる伝承や古井戸、蔵屋敷跡などの伝承を収集する。

【薩摩藩時代】

- ・伊仙町内外の文献資料を収集、活用して、諸資料保存機関の近世にまつわる所蔵資料について調査・収集する。
- ・島内外に現存する古文書をデータ化し、解読を依頼し、記録する。

【明治・大正・昭和・平成・令和時代】

- ・写真、絵画、ポスターなどその他図像資料、動画資料について調査、収集を行う。
- ・過去の新聞記事を中心に、活字資料群を収集する
- ・行政資料・議会資料について調査・収集する
- ・諸資料保存機関の所蔵資料について調査・収集する。
- ・前町誌後約 45 年間の歴史に関しては、各小中学校、徳之島農業高校の歴史など、資料を収集する。
- ・住民の歴史的、私的経験を年表に照らし合わせて記述してもらう「自分史年表」を募集し、町誌の年表と対比させる。
- ・学校現場、伊仙町役場への協力を仰ぎ、小中高校生と若手職員による親族への聞き取りフォーマットを用いて、聞き取り調査を実施する。

【自然史】

- ・先史時代に遡り、人が地域の天然資源をどのように利用してきたのかに関する論文を集積する。
- ・地理学的な目線での地域の成り立ち、変遷に関わる論文を収集する。
- ・世界自然遺産までの道のりを時系列で表現し、それまでに検証され積み上げられてきた科学的成果を活用する。

- ・「先史部会」「民俗部会」と連携し、時代ごとの人々の自然とのかかわりにまつわる表現のすみわけを行う。

【民俗】

- ・過去の民俗調査資料を参考にしながら、新たに民俗調査を行い成果を記述する。

【デジタルアーカイブ】

- ・島内写真家、個人所有の古い写真などを発掘し収集する。
- ・昔の絵葉書や印刷物も時代、地域を表す資料として収集する。
- ・これまで蓄積されてきたあらゆるジャンルの音声、映像、画像資料などを整理し、歴史民俗資料館とも連携して町史編纂事業の一部として公開する。
- ・通史編で収集されたあらゆるジャンルの資料をデータ化し、公開可能なものは伊仙町 HP、歴史民俗資料館 HP において公開する。
- ・個別聞き取り風景やグループでの島口語りを動画記録し、現在の記録として保存、公開する
- ・これまで蓄積されてきた音声、映像資料、民具の記録データなどを整理し、歴史民俗資料館とも連携して町史編纂事業の一部として公開する。

3. 本編構成

冊子としては「通史編（上）」「通史編（下）」「自然史編」「民俗編」の 3 部作とする。年代区分は審議会にて決定し、表題は手に取った方が興味を持てるよう、柔らかく、読者目線になるよう工夫する。同時に町誌事業のデジタルアーカイブ化を、歴史民俗資料館とともに計画的に進める。

冊子	区分内容	ページ数
通史編（上）	先史時代から薩摩藩統治時代まで	400ページ程度
通史編（下）	明治時代から令和時代まで	400ページ程度
自然史編	「環境文化型」人と自然のかかわり	150 ページ程度
民俗編	伊仙の暮らし 集落の姿	300 ページ程度
デジタル版	伊仙の移ろい写真集 島口による語り 伊仙町生物データ	歴史民俗資料館 HP と のジョイント
資料集編	資料集① 復刻版「更生の伊仙村史」「伊仙町誌」 資料集②「道統上国日記」 資料集③「昭和新聞記事」	

4. 印刷形式

- ・「通史編(上)」「通史編(下)」「自然史編」「民俗編」をA4 判で予定。
- ・「通史編」「民俗編」は 1 ページは縦書きとし、本文は上下 2 段組みとする。
注釈は必要となる事項の章立て最後部分へ随時挿入する。
- ・「自然史編」は横書きとする。
- ・写真・図表は適時サイズを調整し、詳細が必要なものは 1 ページを使用する。

5. 広報方針

- ・「伊仙町誌だより」を年 3 回のペースで発行し、伊仙町内のみならず島内全域、国内各地に組織化されている郷友会の役員へ発信する。そこで編纂事業の活動状況を周知し、情報提供や資料提供、WS への参加などの呼びかけを行うことで住民や出身者の関心、かかわりを深める。
- ・歴史民俗資料館ホームページへ「令和版伊仙町誌」の窓を設け、公開できる情報は随時アップロードしていく。また伊仙町の HP とも連動させる。